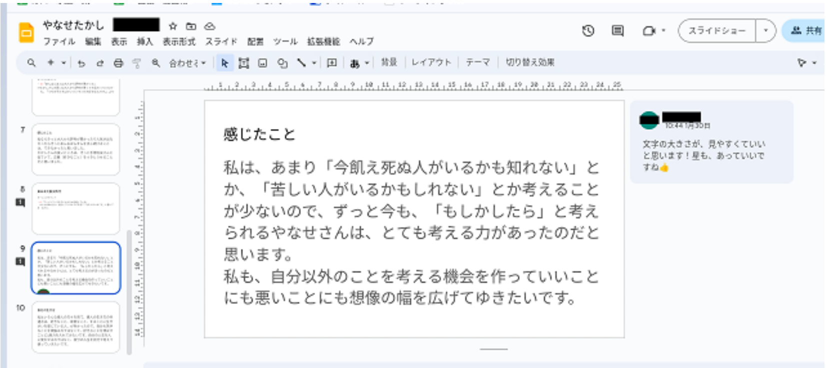
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

川越市立川越西小学校（埼玉県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる、学校との接続と学びの機会の確保

端末を日常的に持ち帰り、クラスルームを活用することで、
学校と家庭との接続強化と学びの連続性を確保するための工夫です。



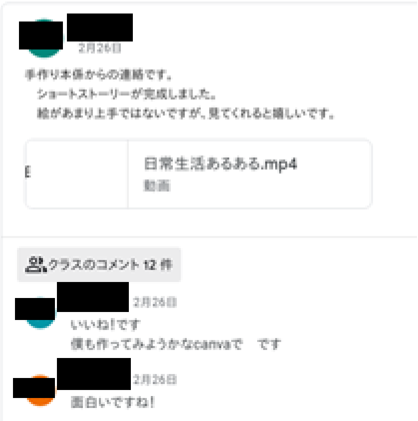
↑授業の成果物をスライドでまとめる。
家に帰ってからも自分の課題に取り組んでいる。

↑自分の意見を事前にまとめる課題を設定する。
（次の授業で意見をもとに話し合う）

学習上のワークシートや成果物となるものを、クラウド対応のスライドやドキュメントなどでまとめるようにした。授業中は普通に使用し、必要に応じて続きを家庭でも取り組めるようになった。課題によっては、家庭で考えをまとめてきて授業で話し合う“反転学習”的な活用も行えた。

また、学級の係活動でも児童がクラスルームやクラウドサービスを活用し、意欲的に活動することができるようになった。

▶**クラウド化することで、時間や場所の制約なく学びを継続することができるようになった。**



↑放課後に児童が係活動を行っている。
クラスルーム上では交流も盛んに。